

保健所運営協議会開催結果報告書

令和5年度	日時	令和5年8月2日(水) 午後2時～午後3時30分	出席者	委員	16名	協議 役員 会名	会長	酒井 了
	場所	貝塚市役所6階多目的ホール		職員	15名		副会長	永野 耕平
				傍聴者	4名		副会長	市川 正裕
議 事	議事の要点		委員の意見	保健所の回答			付記	
保健所事業の概要について	1. 企画調整業務について 2. 衛生課業務について 3. 地域保健課業務について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ患者が増加してきているが、国は患者数を公表せず、報道も不十分ななか、感染拡大の恐れがある。また新型コロナの入院調整について、医療機関間での調整は難しいことを理解してほしい。</li> <li>・府から医療機関あてにコロナ病床を増やすよう要請があったが、既に対応済みである。府の対応が遅いのではと危惧している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに沖縄などでは増加しているの、関西でも同様になると考えている。入院調整についてはハイリスク患者や調整の難しい患者などは保健所も入り支援している。府においても患者数や病院の空床状況を見つつ対応している。</li> </ul>				
食品衛生法の改正について	法改正に伴う管内における現況について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漬物製造についても設備整備や許可が必要になるとのことだが、零細企業向けの資金援助制度等はないか。泉州地域において水ナスの漬物は重要な産業・文化であると思うが、大阪府としては援助する等の制度は考えていないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府や近隣都道府県においてそのような補助金制度は聞いていない。食品衛生法上の設備投資に係る補助制度はないが、新規開業に伴う融資については従来からの政策金融公庫の制度が利用できる。</li> </ul>				
その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ陽性者数が公表されなくなったため、大阪府医師会独自で患者数を収集しているが、そのデータから単純に計算すると府下で一日当たり数千人の陽性者が出ていることになる。また定点観測の数字からすると、インフルエンザであれば赤信号と思われる状況だが、行政からは何も情報発信がなく、医師会としても危機感を持っている。報道等で全国の自治体から厚労省に何かしらの情報発信を要望していると聞くと、ぜひ大阪府からも要請してほしい。</li> <li>・新型コロナの流行について、正式な数字でなくても患者数が増えているということだけでも周知すべきではないか。</li> <li>・泉州ではだんじり祭りも特徴的な文化であり、今年は5年ぶりに開催される。一方、新型コロナ陽性者数は増加してきているものの、国やマスコミはそういう状況を発表しない。特に祭りの時期である8、9月あたりは全国レベル以上に泉州で感染拡大が進むと思われるが、そのような危惧を自治体単位で発信せざるを得ないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話のとおり、インフルエンザであれば警報を出す数値になっているものの、これまでの事例等に基づいた対策を立てることのできるインフルエンザに比べ、新型コロナウイルスについてはデータが十分でないなか、効果的な治療法がないため対策がなかなか進まないのではないかと思う。</li> <li>・国単位ではある程度データを集積していると思われるので、保健所としても情報を発信していくよう、国等関係機関に伝えていきたいと考えている。</li> </ul>				